

2017年12月7日

## 印刷メディア産業の動向

主催;国際印刷大学校、後援;日本印刷技術協会

2017年1月1日の人口動態調査によると、日本人の人口は1億2653万人となり、8年連続減少した。2065年には8300万人と推定されている。それに伴い、15歳から64歳までの生産年齢人口は1997年から減少している。帝国データバンクでは2017年8月のアンケート調査では自社の経営に於いて人口減少が「重要な経営課題」であるとの回答は45.7%となり、この人口減少がより顕著な地域ほど高くなる傾向(77.7%)であった。2011年以降の人口減少に対応して、人手不足を補完するための技術開発やIoTなどによる生産性向上に対応すべきであろう。又、印刷出荷額も減少しているが、これまで、印刷メディア産業はGDPと人口増と共に発展して来た。アメリカの印刷企業数も1995年から半減したとの報告もある。

2017年11月2日、産総研主催でPrinted Electronicsのセミナーで印刷技術の重要性が確認され、第6次情報革命に最も重要なテクノロジーとして「印刷によるイノベーション」の展開があり、同時に大学、高専の学生も多数参加していて、印刷の未来は明るい。今後は構造変革と業域拡大の一層の進展を目指すべきであり、ここに **page2018 の Open Event** にて下記内容のセミナーを開催します。奮ってご参加の程、お願い致します。

記

- 1、期日及び時間;2018年2月7日(水)13時10分～14時40分
- 2、会場;東京・池袋サンシャインコンベンションセンター文化会館7階701会議室
- 3、演題及び講師;[www.media-igu.com](http://www.media-igu.com)
  - (1) 2017年度PIA Flash Reportから読み解く米国の印刷事情  
(13時10分～13時40分) Typology 代表 竹原 悟氏
  - (2) 技術進化と印刷業の対応(13時40分～14時10分)  
国際印刷大学校客員教授 工学博士・経営学博士 若生 彦治氏
  - (3) 印刷メディア産業と人財育成(14時10分～14時40分)  
国際印刷大学校学長・九州産業大学名誉教授 工学博士 木下 堯博氏  
司会;サレジオ高等名誉教授 三浦 澄雄氏(質疑応答は各講演時間に5分を含む。)
- 4、申込み;国際印刷大学校事務局 〒189-0002 東京都東村山市青葉町2-29-12  
TEL,042-395-5561、FAX,042-392-8216  
携帯、070-5694-0174、Mail;[kinoaki@mpd.biglobe.ne.jp](mailto:kinoaki@mpd.biglobe.ne.jp)
  - 1 氏名,②会社名をメールにてお申込み下さい。(締切り2018年2月3日)  
(個人情報はこのセミナーのみに用います。)
- 5、資料は2017年に発表した国際印刷大学校研究報告など Web を参照して下さい。  
当日は発表用の要旨及びPPT プリントを配布します。参加費は無料です。 以上